



# ゆらがわ

舞鶴市立由良川小学校

学校だより

10月号

〒624-0955 舞鶴市字丸田74番地

TEL: 0773-82-0013

令和4年9月29日発行

## 絆・協力・全力 輝く子どもたちの姿！

2学期のスタートはコロナウィルス感染症の第7波の影響や残暑による熱中症対策もあり、いろいろと制約がある中での活動となりました。そんな中でしたが、子どもたちは秋季運動会の成功に向けて、毎日大きな声を響かせながら本当によく頑張ってきました。

本番前になって台風が来てまた今年も雨の心配をしなければ・・・と思っていましたが、久しぶりに良い天候、グラウンドコンディションの中で当日を迎えることができました。

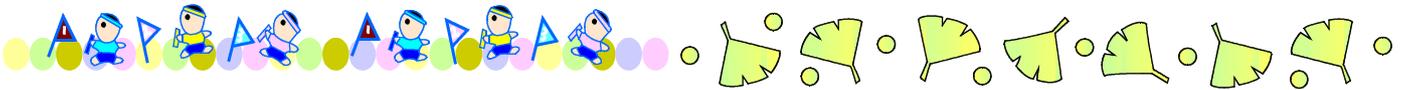
やはり、子どもたちの大きな声が聞こえて、笑顔あふれる姿や一生懸命に頑張る姿は素敵です。見ているこちらまで気持ちが高ぶり、勇気もらったように感じます。応援合戦でも、楽しそうに大きな声をだしているリーダーの姿が特に印象に残りました。



競技においても赤組・白組共に全力で頑張り接戦で最後までどちらが勝っているのかわからない勝負となりました。今年度復活したPTA種目の親子リレーでは、親あるいは兄弟姉妹と必死になって走る姿が、見ている人を楽しませてくれました。運動場半周でしたが、その中には様々なドラマもあり、ケガもなく楽しめていたように感じました。当日の夕方には、親子4人が運動場で競走する微笑ましい姿も見られました。

一番時間をかけて練習してきた団体演技でも、低学年はかわいらしさ・元気よさ、高学年は力強さ・かっこよさを感じられるとてもよい演技を披露することができました。おそらく子どもたちは、音楽が流れると自然と動けるくらいだったと思います。きっと達成感を味わったと思いますから、これからの学校生活に活かしてほしいです。

PTAの皆様には、朝早くからの準備及び用具出し等、さらには後片付けと本当にお世話になりました。PTA種目への参加も含めてありがとうございました。



～「ありがとう」を多く言うと、ストレスは少なくなる～

やさしい言葉は、たとえ簡単な言葉でも、ずっとずっと心にこだまする。(マザー・テレサ)

最近「ども」というだけで「ありがとう」と言ったつもりになっている人も多いようですが、やはり、言葉に出して「ありがとう」と言った方が、うれしい気持ちが相手にしっかり伝わります。できれば、微笑みを添えるといいです。

もう一つ、「ノー・サンキュー」という表現もあります。たとえば、「おかわりはいかが？」と声をかけられた時の、「いえ、いりません」に相当する英語表現です。相手には、「サンキュー」という言葉が最後に響き、残る印象はやわらかく、やさしいものになります。

言葉はかけ算に似ています。かけ算ではどんな数も最後にマイナスをかけたら、答えはマイナスになります。それどころか、かけ合わせる数字が大きければ大きいほど、答えは大きなマイナスになってしまいます。マイナスというのはそれほどものごとを否定してしまう要因となります。ノーというマイナスの後にサンキューというプラス。これはイギリス人の智慧である気がします。それと似た英語の表現で「ノー・プロブレム」(問題ありません)があります。自分が好きな表現では「ノー・ミュージック・ノー・ライフ」があります。「音楽のない人生なんてありえない」という意味です。

日本語では文章の最後に大切な内容を言いますが、英語では最初に大事なことを言います。日本語には、おくゆかしさや控えめな印象が強いですが、英語ではストレートな表現が目立ちます。日本では自分との関係が近いほど逆にこうした感謝の気持ちを直接言葉にすることは、なかなかできないように思います。

でも、やさしい言葉を身近な人に言えることは大切だと感じます。ちょっとした心遣いに対して、さっと「ありがとう」と言えるようになりたいものです。由良川小学校の中でも「ありがとう」がたくさん言える関係になってほしいです。

ありがとう

THANK YOU

校長 中江 浩二  
教職員 一同